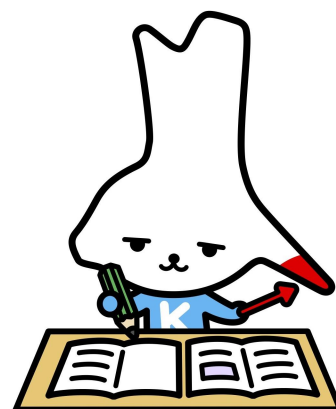


Ⅲ 学校概要



©kamisu city

1 学校概要

小学校概要

息栖小学校	39
軽野小学校	40
軽野東小学校	41
大野原小学校	42
横瀬小学校	43
大野原西小学校	44
深芝小学校	45
波崎小学校	46
波崎西小学校	47
植松小学校	48
やたべ土合小学校	49
太田小学校	50
須田小学校	51
柳川小学校	52

中学校概要

神栖第一中学校	53
神栖第二中学校	54
神栖第三中学校	55
神栖第四中学校	56
波崎第一中学校	57
波崎第二中学校	58
波崎第三中学校	59
波崎第四中学校	60

幼稚園概要

うずも幼稚園	61
石神幼稚園	62
大野原幼稚園	63
須田幼稚園	64

校 章	所在地	神栖市平泉 2780 番地	教職員数		4 0	
	学校長	大槻 憲永	児童数		5 8 9	
	創立記念日	1 月 2 9 日	学年別児童数			
	T E L	0299-92-0514	1 年	9 4	4 年	1 1 5
	F A X	0299-93-2720	2 年	9 0	5 年	1 0 6
	E-mail	530601@sch. ibk. ed. jp	3 年	9 7	6 年	8 7
	URL	http://www.kamsu. ed. jp/ikisu/				

学校の教育目標	自分・ともだち・学校を大切にする地域に愛される児童の育成
---------	------------------------------

校舎全景	学校経営方針
	【学校組織目標】 ○児童・保護者・地域とともに、魅力ある学校づくりを推進する 【めざす姿】 ○学校像 ・児童が安心して通える学校 ・保護者から信頼と協力が得られる学校 ・地域の一員と認められる学校 ○児童像 ・自分を理解し、前向きに成長しようとする子 ・お互いのよいところを認め合い、助け合い、協力する子 ・学校や地域に感謝し、気持ちのよい挨拶ができる子 ○教師像 ・子供一人一人に寄り添う教師 ・気づき、認め、褒める指導力のある教師 ・児童の手本となる信頼される教師 【キーワード】 ○生き・絆・息栖小～安全・安心な学校～
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
1 生き生きと学ぶ風土 ①探究的な学びにつながる授業の実践 ②学習習慣の確立 ③特別支援教育の充実 ④体力づくりの推進 ⑤教職員の働き方改革 2 絆な計らいの風土 ①道徳教育の充実 ②人権教育の充実 ③信頼される教師集団の育成 3 安全・安心な風土 ①安全教育・健康教育の充実 ②規則正しい生活習慣づくり ③キャリア教育の充実 ④開かれた学校づくり	明るさや笑顔のある児童と教師がいる学校 ・「話す・聞く」活動の充実 ・ I C T 機器の効果的な活用 ・教科専科等の確立 ・ 市中央図書館と連携した読書活動の推進 ・家庭学習の習慣化 ・ 個別の支援計画に基づいた支援 ・体育授業における運動時間の確保 ・ 業間運動や外遊びの励行 ・積極的な業務改善により、教師がゆとりをもって児童に寄り添えるようにする 相手の思いが受け止められる児童と教師がいる学校 ・「思いやり」の心を育む道徳教育の実践 ・教育相談の充実 ・ 言語環境の整備 ・大切な気持ちを言葉で伝えられる児童の育成 ・コンプライアンス研修の計画的な実施 ・校内研修を通じた指導力の向上 健康で自分の身は自分で守れる児童、安心して過ごせる学校 温かく見守ってくれる保護者と地域がある学校 ・交通安全教育 ・ 防災・防犯教育 ・がん教育、喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導、性に関する指導 ・早寝・早起き・朝ごはんの励行 ・ キャリアパスポートの活用 ・自己肯定感と学級・学校への所属意識を高める活動の工夫 ・家庭・地域と連携した教育活動の展開 ・学校運営協議会の効果的な運営・協力体制の構築

校 章	所在地	神栖市知手 2 番地 2	教職員数		2 8	
	学校長	松本 直人	児童数		3 1 9	
	創立記念日	9 月 2 5 日	学年別児童数			
	T E L	0299-96-0502	1 年	5 6	4 年	5 5
	F A X	0299-96-9950	2 年	5 8	5 年	4 2
	E-mail	530602@sch. ibk. ed. jp	3 年	5 4	6 年	5 4
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/ karuno/				

学校の教育目標	豊かな心と たくましく生きる力をもった児童の育成 — 家庭・地域とともに子どもが成長する学校 —
---------	---

校舎全景	学校経営方針
	【組織目標】 なりたい自分を目指して 努力できる子 — やりたいことをする 人のため にする 進んでする —
重点課題と対策	「教わる」から「学び取る」へ 「自立」から「自律」へ 「チャレンジ」から「トライ」へ
①【考える】 ～自分の考えや思いを相手に伝える子～ ○ 児童が「分かった」「できた」「学習した」と実感できる授業づくりを目指します。 ○ 基礎・基本の定着を図ります。 ○ 活用力（説明力、記述力）の育成を図ります。 ○ 特別支援教育の充実を図ります。 ②【感じる】 ～互いの良さを認め合える子～ ○ 特別活動の充実を図ります。 ○ 所属感や自己有用感を高める教育活動の推進を図ります。 ○ 道徳的実践力の育成を図ります。 ○ 生徒指導の充実を図ります。 ③【たくましく】 ～目標をもってがんばりぬく子～ ○ 体力づくりを推進します。 ○ 家庭と連携した健康意識の向上を図ります。 ○ 安全教育の充実を図ります。 ○ 食育・保健指導の充実を図ります。	①【考える】 ～自ら考え学習する子～ ・軽野小授業スタイルの推進 ・「分からない」を大切に授業の創造 ・学習のめあて、アウトプット、振り返りの重視 ・ICTや思考ツール等の効果的な活用 ・学習規律の定着（動と静のけじめ） ・授業と運動した家庭学習の充実（目安時間：学年 ×10 分+10 分） ・学習タイムの充実 ・各種テストの実施・分析と活用 ・ペア・グループ学習の充実 ・根拠や理由を明確にした言語活動の充実 ・板書の構造化とノートと一体化 ・読書活動の充実 ・授業のユニバーサルデザイン化の推進 ・一人一人の教育的ニーズに応じた学びの充実 ・合理的配慮による個への対応（自己決定の場提供） ・個別的教育支援計画・個別の指導計画の活用 ②【感じる】 ～互いの良さを認め合える子～ ・キャリアパスポートの実践・充実 ・学級・学校をよくするための話し合い活動の充実 ・児童会活動の活性化 ・異年齢活動の充実（縦割り班活動・学年授業・他学年との交流活動） ・一人一人が活躍できる場の設定 ・多様な「よさ」を認める機会の創出 ・貢献が実感できる機会の創出 ・生徒指導4機能を生かした教育活動の推進 ・考え議論する道徳授業の実践 ・地域と連携した体験活動の推進 ・人権教育の充実（人権感覚・折り合いをつける力の育成） ・規範意識向上の推進 ・予防的生徒指導の推進 ・多面的な児童理解と情報共有 ・組織的・協働的な支援体制の確立 ・児童一人一人の声を聴く教育相談時間確保 ③【たくましく】 ～目標をもってがんばりぬく子～ ・運動量を確保した体育授業の充実 ・年間を通して運動性のある体力づくり ・業間運動や外遊びの奨励（運動習慣の確立） ・体力テスト・健康診断結果の分析と活用 ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進 ・生活リズムの確立 ・SNS等の問題共有と連携 ・徒歩登校の奨励 ・児童の危険予知力・回避実践力の育成 ・CSとリンクさせた防災教育の実践 ・「いのち」の教育の推進 ・専門家招聘による防犯防犯教室の実施 ・発達段階に応じた栄養指導 ・養護教諭と連携した保健教育の充実 ・疾病予防の取組強化 ・疾病治療の促進

校 章	所在地	神戸市奥野谷 5746 番地 2	教職員数		2 3	
	学校長	川田 寛子	児童数		1 9 4	
	創立記念日	2 月 1 日	学年別児童数			
	T E L	0299-96-1402	1 年	2 1	4 年	3 4
	F A X	0299-96-9920	2 年	2 1	5 年	4 0
	E-mail	530603@sch. ibk. ed. jp	3 年	4 7	6 年	3 1
	URL	http://www.kamisu. ed. jp/karunohigashi/				

学校の教育目標	夢をもち、すすんで学び合い、認め合い、高め合う児童の育成
---------	------------------------------

校舎全景	学校経営方針
	<学校組織目標> 『わかった！できた！よかった！を 実感できる場面をつくり、 自己肯定感・自己有用感を高める。』 <経営の重点> ○学ぶ意欲をもち、自分の考えを表現できる児童の育成 ○多様な他者とかかわり合い、互いを認め合える児童の育成 ○心身ともに健康で、主体的に活動できる児童の育成
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
○学力の向上（確かな学力の育成） ・『学び取る』探究的な学びの実践 ・ICTの効果的な活用 ・個々の発達段階やニーズに応じた学びの充実 ・国際教育の充実 ○心の教育（豊かな心の育成） ・共感的な人間関係づくり、自発的・自治的な活動の充実 ・道徳教育、福祉教育の充実 ・特色ある学校づくりの推進 ○体力づくり（健やかな体の育成） ・運動の習慣化 ・健康・保健教育の充実 ・安全・防災教育の充実 ○安心して学べる教育環境 ・居場所づくり、絆づくり、人権教育の充実	・自分で選び、判断し、考え、伝える(表現する)場の設定 (試行錯誤、アウトプット、振り返り) ・学習成果の発信、振り返り、学習履歴 ・家庭学習の習慣化、学校図書館の活用 ・国際理解を深める活動(自国文化、異文化)、 日本語指導センター等の活用 ・学校生活への主体的参画 ・自己肯定感・有用感を高める活動の工夫 ・縦割り班活動、異学年交流 ・あいさつの励行、人権教育 ・一人一人の活躍の場、多様な体験活動・協働の機会 ・業間運動の効果的な実施 ・外部講師を活用した専門的指導 ・発達段階に応じた「生命（いのち）の安全教育」の実施 ・相手の立場を尊重する姿勢、支持的風土の醸成 ・教育相談体制の整備(校内オンライン相談、生活アンケート) ・チーム支援の確立（各機関との連携）

校 章	所在地	神栖市大野原中央二丁目 1 番 8 号	教職員数		4 0	
	学校長	長末 正也	児童数		5 5 6	
	創立記念日	6 月 2 6 日	学年別児童数			
	T E L	0299-92-7552	1 年	8 7	4 年	8 8
	F A X	0299-93-2730	2 年	9 8	5 年	1 0 3
	E-mail	530604@sch. ibk. ed. jp	3 年	8 0	6 年	1 0 0
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/onohara/				

学校の教育目標	自ら考え判断し 行動できる 心豊かな児童の育成
---------	-------------------------

校舎全景	学校経営方針
	【教育目標】 自ら考え判断し 行動できる 心豊かな児童の育成 ～ 一人一人が輝く魅力ある学校 ～ 【組織目標（重点）】 ○探究的な学びの推進 ○生徒支援の充実 【児童に伝えたいこと】 ・自分を大切に ・あいさつ（魔法のことば）を大切に ・読書の充実を 【全職員で大切にしたいこと】 ・子供たちに愛情を ・職員の和を大切に
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協議する」
1 確かな学力を育む【知プロジェクト】 ・できる、分かる、楽しい授業の実践【大野原スタイルの確立】 ・基礎・基本の徹底 ・特別支援教育の充実 ・ICTを活用した授業づくり ・家庭での学習習慣の確立 2 豊かな心を育む【徳プロジェクト】 ・道徳教育の充実 ・人権教育の充実 ・キャリア教育の充実 3 健やかな体を育む【体プロジェクト】 ・体力づくりと運動習慣の定着 ・規則正しい生活習慣づくり ・安全教育・健康教育の充実 4 地域に信頼される安心・安全で開かれた学校づくり ・地域との連携・促進 ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて ・教育活動の積極的な情報発信 ・教育相談の充実 ・学校評価の実施と公開 5 教職員の資質向上及び服務規律の徹底 ・校内研修を通じた神栖市授業スタイルを基にした「学び取る」授業の共通理解・共通実践による授業力の向上 ・学校コンプライアンス推進委員会を中心とした計画的な研修の推進 ・働き方改革推進委員会を中心とした勤務環境の整備・改善等の推進	1 確かな学力を育む ・神栖市授業スタイルを基にした探究的な学びの推進 ・教科担任制の実施（高学年） ・図書館の活用による読書活動の量的・質的向上 ・「のびコン」を活用した繰り返し学習での基礎の定着 ・交流学級との連携と全職員での見守りと個別支援の充実 ・学習のねらいに応じたICTの活用 ・遠隔・オンライン授業、オンデマンド動画、デジタル教材、学習データ、AI活用 等 ・家庭学習の習慣化と内容の充実（AIドリルの活用） 2 豊かな心を育む ・道徳科における「考え、議論する道徳」の質的充実 ・あいさつ運動の推進 ・教育相談の充実と言語環境の整備 ・いじめ・不登校の未然防止 ・自己肯定感と自己有用感を高める活動の工夫 ・キャリアパスポートの活用 3 健やかな体を育む ・授業改善による運動の確保と業間運動や外遊びの効果的活用 ・陸上記録会、運動会、持久走、なわとび等による体力向上 ・早寝・早起き・朝ごはん ・危険予測・回避能力向上のための安全教育の実践 ・がん教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する指導等の実施 4 地域に信頼される安心・安全で開かれた学校づくり ・神栖四中学区地域コミュニティ競技会との連携 ・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進 ・「架け橋カリキュラム」の活用 ・HPの充実、メール配信の活用 ・SC、SSWとの連携 5 教職員の資質向上及び服務規律の徹底 ・個人・組織で取り組むコンプライアンス

校 章	所在地	神栖市横瀬 1276 番地 15	教職員数		3 7	
	学校長	大里 恵	児童数		5 4 6	
	創立記念日	6 月 2 8 日	学年別児童数			
	T E L	0299-96-7494	1 年	7 8	4 年	9 1
	F A X	0299-96-9930	2 年	9 5	5 年	1 0 2
	E-mail	530605@sch. ibk. ed. jp	3 年	9 8	6 年	8 2
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/yokose/				

学校の教育目標	自ら学び つながり合い 高め合う 児童の育成
---------	------------------------

校舎全景	学校経営方針
	組織目標 3つの場づくり ① 学びを体現する場 (主体的な学びの支援) ② 他者とつながり、認め合う場 (自己肯定感・自己有用感の育成) ③ よさを生かし伸ばせる場 (一人一人が活躍し、個を生かす場づくり) 学校教育スローガン よこせエメラルドプロジェクト2 よ よく考え 伝え合い 表現しよう! (学び取る) こ 心をひとつに 力を合わせて! (協働する) せ 全カトライで 前に進もう! (成長する)
重 点 課 題 と 対 策	「学び取る」「成長する」「協働する」
1 確かな学力を育む教育の推進 ○主体的、対話的な学び、探究的な学びの推進 ・分かる授業、楽しい授業の実践 ・思いや考えを言葉や行動で表現する場の設定 ・「自ら考え交流し、学びを深める」授業の実践と授業改善 ○基礎・基本の定着と活用する力の育成 ・県学力診断のためのテスト、全国学力・学習状況調査の分析結果の活用 ・ICTの効果的な活用(AIドリル、デジタル教材) ○個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの充実 ・自立と社会参加を目指した特別支援教育の充実 ・個別の指導計画、教育支援計画の作成と共有・活用 ・日本語指導の充実 2 豊かな心を育む教育の推進 ○自己肯定感、自己有用感の向上 ・児童が主役となり、自分のよさを生かせる学校行事 ・自治的、協働的な活動の充実(役割を担い協力し合える場) ・異学年、異校種交流、特別活動、体験活動の充実(よさを生かし、認め合える場) ○共感的人間関係の育成、自己決定の場の設定 ・多様な考えや意見に触れ、認め合える場(グループや集団活動、話し合い活動)の充実 ・GT等、地域人材とつながる学習機会の提供 ・話し合い、決定し、実践する場の提供 ○安心安全な風土の醸成 ・居場所づくりと絆づくりへの支援の充実 ・チームによる生徒指導・支援体制づくり ・いじめアンケート、SOSの出し方教育の実施	3 健やかな体を育む教育の推進 ○体育づくり、健康教育の充実 ・運動の意欲や技能の向上を目指した体育の授業の工夫 ・業間運動や休み時間の運動遊びの励行による運動量の確保 ○体育づくり、健康教育の充実 ・専門家を活用した健康教育の充実 ・養護教諭による健康・保健に関する授業の実施 ・保健だよりや学校保健委員会による啓発と家庭との連携 ○命を大切にすること意識の向上 ・道徳や特別活動での生命の尊重についての授業の実施 ・避難訓練等の計画的な実施による防災意識、危機回避能力の育成 4 キャリア教育 NEXT10 ○キャリア教育プロジェクトの推進 ・キャリアの視点をもった各教科、領域の指導 ・SDGs、国際理解等、地域や世界の課題に目を向けるための教育の充実 5 学びの連続性を意識した教育活動 ○保幼小中の円滑に向けた取組 ・接続カリキュラムの共有と充実 ・保幼小中の交流活動の充実(子供同士、教員同士) 6 地域とともにある学校づくり ○家庭・地域との連携と協働 ・コミュニティ・スクールの機能の充実 ・各家庭との連携・協働 7 信頼される学校づくり ○コンプライアンスの推進 ・計画的なコンプライアンス研修の実施

校 章	所在地	神栖市大野原五丁目 1 番 45 号	教職員数		2 7	
	学校長	杉本 陽子	児童数		3 9 0	
	創立記念日	6 月 8 日	学年別児童数			
	T E L	0299-93-2251	1 年	5 8	4 年	6 9
	F A X	0299-93-2750	2 年	6 8	5 年	6 8
	E-mail	530606@sch. ibk. ed. jp	3 年	6 2	6 年	6 5
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/onoharanishi/				

学校の教育目標	進んで学び 健康で心豊かな児童の育成
---------	--------------------

校舎全景	学校経営方針
	【めざす児童の姿】 ○自分の思いをもち、進んでトライする子 ○互いの思いを認め合い、協力できる子 【めざす学校の姿】 ○一人一人が成長しようとすることを認めることのできる学校 ○お互いの成長を支え合うことができる学校 【組織目標】 ○思いをふくらませることのできる教育活動を展開する。 ○お互いの思いを共有できる教育活動を展開する。
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
【確かな学力を育む】 1 主体的・対話的で深い学びを引き出す授業の実践 2 キャリア教育の視点を取り入れたカリキュラムマネジメントの推進 3 個々の発達段階に応じた学びの充実 4 特別支援教育の推進 【豊かな心を育む】 1 主体性を高める特別活動 2 自他のよさを認め合える人間関係の形成 3 道徳教育の充実 4 複数の目で子供を育てる体制の整備 5 人権教育・福祉教育・環境教育・情報モラル教育の実施 【健やかな体を育む】 1 主体性を高める学校体育 2 主体性を高める健康教育 3 安心・安全な学校づくり 【家庭・地域・保幼小中高との連携】 思いを共有する ～子供たちの健やかな成長を願う応援団として～ 1 家庭・地域と連携した教育活動の推進 2 学校段階等間の接続の円滑化	1 教育キーワード 「わくわく トライ! か・つ・や・く」 ～かなえる力・つたえあう力・やりぬく力・くふうする力～ 2 キーワードに向かうための視点 「やれそう・できそう」を大切に、自分の成長、仲間のために 3 プロジェクト名 「わくわく トライ!」か・つ・や・く プロジェクト 4 児童に身に付けさせたい力 ・㊦なえる力（キャリアプランニング能力） 学習や活動と自分の将来や生活を結び付けて生かそうとする力 ・㊧たえあう力（人間関係形成・社会形成能力） 他者と関わるときに、相手のことを考えながら、思いを伝えたり、受け止めたりする力 ・㊨やりぬく力（自己理解・自己管理能力） どんなときでも、前向きな態度で行動しようとする力 ・㊩くふうする力（課題対応能力） 課題に直面したときに、多様な方法で解決しようとする力 5 プロジェクト内容 ・基礎的・汎用的能力を自校化した、キャリア教育の合い言葉「か・つ・や・く」を要とした教育活動の実践 ・学んでいることが他の学習や生活、将来の夢につながっていることを児童が自覚できる教科等横断的な学習や相手意識・目的意識をもった学習の実践 ・児童の学ぶ意欲の向上を目指した外部人材との連携及び活用 ・児童の主体性を育んだり自己の役割を自覚したりできる学校行事等の実施

校 章	所在地	神栖市深芝南三丁目 8 番地	教職員数		3 6	
	学校長	宮澤 和弘	児童数		4 6 5	
	創立記念日	2 月 1 日	学年別児童数			
	T E L	0299-95-5211	1 年	7 0	4 年	6 8
	F A X	0299-93-4701	2 年	6 5	5 年	9 9
	E-mail	530607@sch. ibk. ed. jp	3 年	8 3	6 年	8 0
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/fukashiba/				

学校の教育目標	未来をひらき、自ら学び考え実践できる児童を育てる
---------	--------------------------

校舎全景	学校経営方針
	本年度の重点課題（組織目標） ・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、学習の自立化を図る。 ・自治的な活動と互いのよさを認め合う活動を充実し、豊かな心を育成する。 ・健康や安全への関心と実践力をもち、根気強く努力する態度を養う。
重点課題と対策	「学び取る」「協働する」「成長する」
1 「元気に やさしく かしい子」の育成 <かしく> 進んで学ぶ児童 ・ふかふか授業スタイルの推進、基礎・基本の徹底 ・I C Tを活用した授業づくり ・特別支援教育の充実 <やさしく> 思いやりのある児童 ・道徳教育・人権教育の充実 ・基本的生活習慣の確立 ・キャリア教育の充実 <げんきに> たくましい児童 ・運動の楽しさを味わえる体育授業や活動の充実 ・規則正しい生活習慣づくり ・健康教育・安全教育の充実 2 校内研修を生かした教職員の資質向上 ・RPDCAサイクルに基づいた組織的な研修の充実（相互授業参観や授業後の研究協議） ・働き方改革の実践（ワークライフバランス） ・コンプライアンスへの更なる意識高揚 ・キャリアステージに応じた自己研鑽 ・I C Tを活用した指導力の向上 3 地域とともにある学校づくり ・学校運営協議会との協働、PTA 活動の活性化 ・キャリア教育（神栖 NEXT10 事業）の充実 ・二中学区異校種間の連携推進	1 自ら学び、考える児童の育成 ① 授業スタイルの自校化・自分化 ・児童が主体的に取り組む授業づくり ・個別最適な学び・協働的な学びの充実 ② 学習の基礎・基本の徹底 ・読書、作文、家庭学習の推進 ・AI ドリルを活用した学力の定着 ③ I C Tの積極的な活用 ・一人一台端末の活用 ・個別最適な学び 2 積極的な生徒指導 ① 児童に寄り添った指導・支援 ・児童の実態、状況、障害等の理解 ・保護者を含めた丁寧な指導・保護者の考えの理解 ・生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり ② 交通事故防止のための安全指導 ・「自分の命は自分で守る」危険回避能力の育成 ・保健安全指導の充実 3 児童の自治的活動を大切にした特別活動の充実 ① 委員会活動・クラブ活動の充実 ② 異年齢集団による交流活動 ③ 児童主体の学校行事

校 章	所在地	神栖市波崎 8759 番地	教職員数		1 6	
	学校長	串山 忍	児童数		2 1 6	
	創立記念日	1 0 月 1 5 日	学年別児童数			
	T E L	0479-44-0059	1 年	3 3	4 年	4 5
	F A X	0479-44-0098	2 年	3 2	5 年	3 4
	E-mail	531317@sch.ibk.ed.jp	3 年	2 6	6 年	4 6
	URL	http://www.kamisu.ed.jp/hasaki/				

学校の教育目標	自ら学び 進んで行動する 心豊かなたくましい 児童の育成
---------	------------------------------

校舎全景	学校経営方針
	(1) 主体的・対話的で深い学びを通し、進んで考え、表現し合う子供を育てる。 (2) 仲間のよさを認め合い、人も自分も大切にする心豊かな子供を育てる。 (3) 目標に向かって、努力を続けることができる子供を育てる。
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
1 進んで学ぶ、楽しく学ぶ (1) 主体的・対話的で深い学びを通した、「できた・分かった」が実感できる授業改善 ・自ら課題を見つけ、よりよい解決方法を考える「探究的な学び」の充実 (2) 資質・能力を高める教科等横断的な学習の推進 ・カリキュラム・マネジメント表に基づく実践 ・体験活動の充実 (3) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ・ねらいを明確にしたタブレットの活用 ・多様な他者との交流 (4) 家庭学習の習慣化と学習の基本的なルールの定着 2 人を大切に、自分も大切に (1) 仲間のよさを認め合い、自分のよさを発揮できる学級・学校づくり (2) 子供の活躍の場の設定による自己肯定感や自己有用感 (3) 自律できる人へと育てる土台づくりとしてのキャリア教育 ・あたり前なことをあたり前に ・新たな発見の楽しさを実感 (4) 地域を愛し、地域に住む人を愛する心の育成 ・あいさつの奨励 ・地域ボランティアの活用 ・コミュニティ・スクールを軸とした地域とのふれあい 3 強い心、健やかな体 (1) 目標をもち、体力の向上をめざす体育・スポーツ活動の充実 ・体育ファイルの活用 ・運動量の確保 ・大会、記録会、検定等 (2) やらうという意欲とねばり強さを育てる業間運動や外遊びの奨励 (3) 自ら考え、判断し、行動につなげる防災教育 (4) 計画的な食育および健康教育 ・栄養教諭による食育出前授業 ・喫煙、薬物乱用防止教室 4 保護者や地域との連携による信頼される学校づくり (1) 積極的な情報発信と情報収集 ・HPの充実、学校便りの地域回覧、波崎小メール等 (2) 学校評価の実施と結果の公表、課題の改善 ・OODAループを活用した学校評価 ・コミュニティ・スクールの充実 (3) 外部人材（外部教育力）等の積極的活用 ・外部講師 ・保護者や地域ボランティア ・おやじの会 ・波っ子Book 5 誠実に職務に向き合い、子供のグッドモデルになる教職員 (1) 時代の変化に対応した学習指導 ・新しいことに挑戦する向上心「させる」から「支える」へ (2) 人を大切にする意識の見える化 (3) みんなで関わる生徒指導、みんなで関わる特別支援教育 ・各教科と生徒指導を一体化させた授業づくり・集団づくり (4) コンプライアンス意識の高揚 ・自分事として考え、個人・組織での行動へ (5) 心身の活力を高め、よりよい教育を目指すための働き方改革	1 キャリア教育のプロジェクト名 「かがやく未来へ波っ子 チャレンジ！」 2 児童に身に付けさせたい力 (1) 相手の考えを聞いて理解し、自分の考えを分かりやすく伝える力 (みんなとつながる力) (2) 課題の解決に向けて、よりよい方法を考え、取り組み続ける力 (困難を解決する力) (3) 現在の学習を将来につなげようとする力 (つかって生かす力) (4) 自分の役割を理解し、自ら進んで取り組もうとする力 (なんでも挑戦する力) 3 プロジェクト内容 (1) 児童が自ら考え、主体的に判断し、適切な行動ができる力を育む特別活動 (2) 思いやりや助け合いの心を育む交流活動 (3) 1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (4) 各教科等の特質に応じ、学びを将来の生活に関連付けながら、見通しや振り返りを行う活動 (地域のよさを知り、地域や地域に住む人を愛する心を育む体験活動) (5) 地域のよさを知り、地域や地域に住む人を愛する心を育む体験活動 (6) ホームページや学校だより等における学校の取組や児童の様子の発信 4 活動予定 (1) 児童主体で計画・運営・実施する体験活動・交流活動 ・波崎こども園・ひかり保育園との交流 (1・5年生) - 児童が交流内容を計画・実施 ・銚子特別支援学校交流会 (3年生) - 福祉体験を生かし、児童が一緒に楽しめる交流会を計画・実施 ・避難所生活体験・防災マップ作り (4年生) - 地域を探索し、児童自ら安全対策について考える。 ・漁業体験・水産教室 (5・6年生) - 地域の仕事について体験することで理解を深め、地域のよさや特色、未来について考える。 ・実行委員による行事の企画や運営、活動の振り返り (遠足：1～4年生 宿泊学習：5年生 運動会、修学旅行：6年生) (2) 各教科等の学びを将来の生活に関連付けながら、見通しや振り返りを行う活動 (通年) (3) 保護者や地域に向けた学校の取組や児童の様子の発信 (ホームページ：通年、学校だより：月1回)

校 章	所在地	神栖市波崎 5011 番地	教職員数		1 5	
	学校長	飯島 直之	児童数		1 3 6	
	創立記念日	6 月 2 3 日	学年別児童数			
	T E L	0479-44-0074	1 年	2 1	4 年	2 2
	F A X	0479-44-6265	2 年	1 4	5 年	2 9
	E-mail	530702@sch. ibk. ed. jp	3 年	2 2	6 年	2 8
	URL	http://www.kamisu. ed. jp/hasakinishi/				

学校の教育目標	「豊かな心で 自ら学び たくましく生きる 児童の育成」 合言葉 元気・笑顔・みんなで
---------	--

校舎全景	学校経営方針
	〔めざす児童像〕 ○ 自ら学び、考え、自信をもって表現できる子 ○ 優しい心をもち、協力して取り組む子 ○ たくましく、何事にも根気強くがんばる子 〔組織目標〕 児童・教職員が元気で笑顔があふれ、家庭・地域から信頼される学校づくり ○ 児童一人一人が安心して学べる魅力ある学級・学校づくり ○ 児童が自ら進んで「学び取る」学習の充実 ○ 教職員の指導力・資質の向上と同僚性の確立
重点課題と対策	具体的施策
1 心豊かで優しい子の育成 ・互いのよさや努力を認め合い、安心して学び合える寛容で共感的な学級・学校づくり ・寛容で共感的な集団を形成する特別活動の充実 ・キャリア教育・道徳教育の充実 2 主体的に学習に取り組む子の育成 ・西小学習スタイルを柱とした「個別最適な学び」「協働的・探求的な学び」の視点による授業改善 ・知識技能の確実な習得及び読書の習慣化を図る指導の工夫改善 ・特別支援教育の充実 3 健康で判断・実践できる子の育成 ・基本的な生活習慣の定着を図る指導の充実 ・体育授業の充実及び体力の向上を図る業間運動の充実 4 安全・安心な学校づくり ・危険予測・危険回避能力を育成する安全教育の充実 ・命を大切に教育、判断力・実践力を高める健康教育の推進 ・児童目線を取り入れた安全点検の定期的・組織的な実施と適切な対応 5 家庭・地域に信頼される学校づくり ・教育活動の積極的な情報発信と情報収集 ・学校運営協議会との連携による地域・外部講師等の人的・物的資源の積極的活用 ・保幼小・小小、小中連携推進による、課題の共有と改善 6 信頼される教職員の指導力・資質向上 ・キャリアステージに即した研修機会の確保 ・教員評価・人事評価の有効活用 ・日常的な校内研修の充実 ・服務規律の徹底と不祥事ゼロに向けたコンプライアンス研修の充実 ・働き方改革の推進	1 心豊かで優しい子の育成 ・「西小スマイル『は・あ・と』ふるプロジェクト」の実施 ・いじめゼロ集会や人権教育の充実 ・キャリア教育の視点を取り入れた児童主体の学校行事等の運営とキャリアパスポートの活用 ・「考え・議論する」道徳の充実 2 主体的に学習に取り組む子の育成 ・「問い」をもち、協働的な解決に重点を置く探究的な学びの充実 ・学びをつなげる発問や試行錯誤、アウトプット、学びを深める振り返りを重視し授業 ・ミニマムグレイド(カタカナ・九九・ローマ字・都道府県名・算数・歴史人物)の実施 ・家庭学習の手引きを活用した学習と読書の習慣化 ・個別的教育支援計画・指導計画の効果的な活用 3 健康で判断・実践できる子の育成 ・計画的なミニ保健指導や衛生検査の実施 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化・家庭との連携及び学校保健委員会の実施 ・体育が好きな指導方法の工夫改善 ・計画的な業間運動の実施と外遊びの推奨 4 安全・安心な学校づくり ・「自分の命は自分で守る」を意識した計画的な安全教育の実施 ・積極的な外部講師の活用と体験活動の充実 ・効果的な避難訓練の実施 ・学校防災連絡会議の実施(学校運営協議会委員・各地区長の参加、予告無し避難訓練等) ・危機管理マニュアルの随時見直しと共通理解 5 家庭・地域に信頼される学校づくり ・学校だよりの定期的な発行と学校 HP の充実 ・保護者ボランティアや外部講師等の積極活用 ・体験活動の充実 ・学校段階等間の交流・情報交換の充実(授業相互参観等) 6 信頼される教職員の指導力・資質向上 ・日常的な校内研修の充実及び授業研究の実施と相互参観の体制づくり ・教員研修プラットフォーム・研修履歴記録システムの活用 ・資質の向上に関する指標を基にした教員評価 ・ボトムアップ型コンプライアンス研修の充実 ・業務の効率化・協働体制の強化

校 章	所在地	神栖市土合本町四丁目 9809 番地 2	教職員数		3 5	
	学校長	向後 範路	児童数		4 0 1	
	創立記念日	1 1 月 3 0 日	学年別児童数			
	T E L	0479-48-0462	1 年	5 9	4 年	7 2
	F A X	0479-48-0461	2 年	6 0	5 年	8 0
	E-mail	530707@sch. ibk. ed. jp	3 年	6 5	6 年	6 5
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/uematsu/				

学校の教育目標	夢をもち 自ら学び 心豊かにたくましく生きる児童の育成
---------	-----------------------------

校舎全景	学校経営方針
	(1) 学校組織目標 ○ 主体的・対話的で深い学びを充実させ「学び意欲」を向上させる。 ○ 「児童が主役」の魅力ある学校づくりをすすめて「思いやりの心」と「感謝の心」を育てる。 ○ 互いの健康と命を大切にする心を育てる。 (2) 教育スローガン 「友達大好き 運動大好き 勉強大好き 植松っ子」 (3) 目指す児童像 「植松小でよかった!」 ○ 主体的に考え、学び、説明できる児童 ○ 思いやりと感謝の心を大切にする児童 ○ 自分の健やかな成長を実感できる児童
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
1 確かな学力を保证する学習指導 ・主体的に学び、考え説明できる児童の育成 2 授業を基盤とした魅力ある学校づくり ・思いやりと感謝の心を大切にする児童の育成 3 安全・安心な学校づくり ・危機管理 ・いじめ問題への対応の充実 4 教職員の資質・能力の向上 ・児童理解と保護者との連携・協働 ・学校コンプライアンスの確立 ・働き方改革の推進 5 よりよい社会と幸福な人生をつくるキャリア教育の推進 ・自分の健やかな成長を実感できる児童の育成	○主体的・対話的で深い学びの実現 ・「教わる」から「学び取る」という姿勢で「自分たちで課題を見つける」、「友達と対話しながら問題を解決していく」等の学習の実施 ・学習規律、主体的な学習態度の定着を図る植松授業スタイルの徹底 ・ICT 機器の効果的な活用 ○一人一人の人権を大切にした学級づくり ・お互いのよさを認め合い、誉め合い、失敗が許される授業づくり ・あいさつと「ありがとう」の感謝の言葉の奨励 ・自己肯定感を高める環境整備 ○命を大切にする心と児童の危機回避能力の育成 ・命を大切にする健康・安全を保つ保健学習の充実 ・いじめ防止等に児童が主体的に関わる態度へとつなげるための道徳教育の充実 ・栄養教諭、養護教諭との連携による食育及び保健指導の充実 ○働きやすさと働きがいのある職場環境づくり ・学校評価アンケートの実施とその公表・説明による説明責任 ・教師の学び合いが生まれる校内研修、コンプライアンス研修の充実 ・5時間授業設定日の設定、教育課程のスリム化等により授業の資的向上 ○健やかな成長を実感できる「いばらきキャリア・パスポート」の活用 ・生涯にわたってスポーツに親しむ運動の習慣化 ・実践的、体験的な活動の充実、機会の確保

校 章	所在地	神栖市土合南三丁目 16 番 36 号	教職員数		2 3	
	学校長	人 見 泰 典	児童数		2 3 7	
	創立記念日	5 月 1 2 日	学年別児童数			
	T E L	0479-48-3001	1 年	3 1	4 年	4 7
	F A X	0479-48-3054	2 年	3 4	5 年	4 1
	E-mail	531318@sch. ibk. ed. jp	3 年	4 3	6 年	4 1
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/yatabedoai/				

学校の教育目標	自分の意志をもち、努力する児童の育成
---------	--------------------

校舎全景	学校経営方針
	1 自分の考えをもち、主体的に学び合う授業づくり 《学びプロジェクト》 2 自他のよさを認め合い、高め合える人間関係づくり 《笑顔プロジェクト》 3 最後までやり抜く、たくましい心とじょうぶな身体づくり 《元気プロジェクト》 4 安心・安全な学校づくり 組織目標 「きらきら！ すくすく！ のびのび！ を引き出す学びを推進する」 教育スローガン「今日も楽しかった 明日もがんばろう」
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
1 学びプロジェクト - 授業の目標に対応した振り返りの実施 - 学習課題に応じたアナログとデジタルを単元計画に効果的に配置 2 笑顔プロジェクト - 主体性を育む交流活動や行事の企画・運営 - 考え、議論する道徳の授業、人権教育の推進 - 自己決定をして、経験を積み重ねる活動の充実 3 元気プロジェクト - 元気なあいさつ、返事等、基本的な生活習慣の向上 - 体育の授業の充実や外遊びを奨励した体力の向上 - 保健教育、食育の推進 ～小中学校が連携した パワーアップ・ウィークを実施～ 4 安心・安全な学校づくり - 危険予測・回避能力の育成に向けた計画的な安全教育の推進 - 環境整備の充実 5 教職員の組織体制 - I C T の効果的かつ系統的な活用に向けた校内研修 - 自己目標の達成に向けた計画的な教員評価・人事評価面談の実施 6 働き方改革・働きがいの推進 - 全教職員の平均超過在校時間 4 5 時間未満の月 年間 9 月以上 7 学校コンプライアンスの確立 - 多様な方法による自分事として捉えられる研修の充実	1 主体的・対話的で深い学びを目指す「や土小授業スタイル」の実践 (数値目標) 勉強することが楽しいと感じる児童 9 0 % 以上 授業の目標に合わせて振り返りをしている児童 7 0 % 以上 学習課題に応じて I C T を有効活用している児童 8 0 % 以上 2 一人一人に寄り添い、心の居場所となる学校づくり、児童同士の絆づくりの推進 (数値目標) 学校が楽しいと感じる児童 8 5 % 以上 自分で考えて、判断する児童 9 0 % 以上 自分のよいところが分かっている児童 8 0 % 以上 友達のよいところが言える児童 9 0 % 以上 3 自分や友達、「命」を大切にする教育の推進 (数値目標) 命の大切さを理解し、行動できる児童 9 0 % 以上 元気な挨拶や返事ができる児童 9 0 % 以上 体力テスト A または B の児童 4 2 % 以上 う歯治療率 7 0 % 以上 4 学校における諸課題への早期対応・早期解消に向けたチームでの取組 ・「報告」「連絡」「相談」「確認」「実行」の徹底 5 O J T 研修の充実 ～相互授業参観の活性化～ ・教師としての資質・能力を高める研修を積極的に推進 6 ウェルビーイングな学校運営を目指した真の働き方改革の推進 ・持続可能な学校運営を目指し、真の働き方改革の推進 7 計画的・意図的なコンプライアンス研修の実施 ・「たいせつです」運動の遵守 ・「かもしれない」行動の推進

校 章	所在地	神栖市太田 598 番地 2	教職員数		1 3	
	学校長	下川 淳	児童数		1 4 1	
	創立記念日	7 月 1 日	学年別児童数			
	T E L	0479-46-0013	1 年	2 7	4 年	2 6
	F A X	0479-46-0934	2 年	3 0	5 年	2 5
	E-mail	530706@sch. ibk. ed. jp	3 年	1 4	6 年	1 9
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/ota/				

学校の教育目標	自ら考え ともに学び合う 心豊かでたくましい児童の育成
---------	-----------------------------

校舎全景	学校経営方針
	めざす学校像 ○一人一人が成長を実感できる学校 ○安全・安心な学校 ○地域と連携・協働できる学校 めざす児童像 ○自分で考え、行動できる子 ○自他を大切にすることのできる子 ○聞く・伝えることを大切にしながら、コミュニケーションをとることのできる子 めざす教師像 ○変化を前向きに受け止め、学び続ける教師 ○主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす教師 ○チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
○ 確かな学力の育成 ・「学び取る」探究的な学びの実践 ・自分の考えを論理的に表現する活動の充実 ・自分と他者の考えの共通点や相違点を捉え、考えを深めていく活動の工夫 ・知識・技能の確実な習得を図るための体験的な学習等での活用や繰り返し学習の充実 ・読解力向上や言葉と出会う読書活動の推進 ○ 豊かな心の育成 ・基本的生活習慣の確立、規範意識・相手意識の醸成 ・児童主体の学校づくりの工夫と特別活動の充実 ・日常生活上の諸問題を児童自ら解決する取組の充実 ・人権教育の視点を生かした生徒支援の充実 ・道徳性と実践力を高める体験活動の推進と「考え、議論する道徳」の質的充実 ○ 健やかな体の育成 ・アイコンタクト健康観察の徹底と家庭との連携 ・主体的に楽しく学ぶ体育・スポーツ活動の充実 ・業間タイム・ロング昼休みを活用した「たっぷり外遊び」の奨励と計画的な業間運動の実施 ・健康・安全に関する自己管理能力の育成 ○ 家庭・地域連携の推進 ・教育活動の情報収集・発信 ・地域・学校連携協議会、学校保健委員会等の充実 ・地域の人々との交流、連携 ○ 時代の変化に対応する教育の推進 ・学ぶことと社会との接続の意識付け ・国際理解教育、プログラミング教育、アントレプレナーシップ・キャリア教育等を通じた資質・能力の育成 ・多様性を尊重した学級経営、分かりやすい学習の工夫と合理的配慮の提供 ○ 教職員の資質能力の向上 ・学び研修の充実 ・神栖市学力向上プロジェクトの推進 ・「資質の向上に関する指標」を踏まえた研修と実践の往還	- 児童生徒に身に付けさせたい力 ○ 児童主体の学びの場を中心に、「対話の訓練」と「合意の経験」を重ね、対話力を身に付け、誰一人置き去りにしない社会を創造できる態度 ○ 困り感のある児童を育てる特別支援教育の推進と交流及び共同学習を重視し、多様性の体感を通して、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度 ○ 4 つの力「人を大切にする力」「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」「何事にもトライする力」を身に付け、未来社会を幸せに生きるための力 - プロジェクト内容 ○ 神栖市授業スタイルによる授業実践・・・主体的な活動を通して、児童が主体となり「学び合い」「学び取る」学習支援を推進する ○ すくすくタイムの活用・・・繰り返し学習や学習アプリの利用による基礎的・基本的な知識・技能の定着 ○ 児童主体による行事の推進・・・係や当番活動、委員会活動の活性化による自己有用感・自己存在感の育成 ○ 異年齢・異学年交流・・・縦割り班活動や低学年と高学年児童との交流活動によるふれあい ○ 文化・芸術とのふれあい・・・校外学習による職業調べや空間焼の体験活動、出前講座、ミュージカル鑑賞等 ○ 本とのふれあい・・・児童の読書習慣の向上（年間 50 冊以上の児童 80%以上） - 活動予定 1 学期・・・ピアサポート、町探検 夏休み・・・地域行事への参加、読書に勤しむ 2 学期・・・校外学習（職場見学）、理科出前授業、空間焼体験、工場見学（日本製鐵）、職業調べ 3 学期・・・学習発表会

校 章	所在地	神栖市須田 1177 番地 13	教職員数		2 0	
	学校長	藤代 茂	児童数		2 1 7	
	創立記念日	1 0 月 3 1 日	学年別児童数			
	T E L	0479-46-0024	1 年	3 3	4 年	4 3
	F A X	0479-46-0459	2 年	4 3	5 年	3 7
	E-mail	530705@sch. ibk. ed. jp	3 年	3 0	6 年	3 1
	URL	http://www. kamisu. ed. jp/suda/				

学校の教育目標	夢に向かって たくましく とともに伸びる 須田っ子の育成
---------	------------------------------

校舎全景	学校経営方針
	◎ 目指す学校の姿 ○ 笑顔と思いやりに満ちた学校 ○ 創意と活力に満ちた学校 ○ 環境が整い、きれいな学校 (1) 重点課題 ○ 確かな学力の育成（ひとみキラキラ） ○ 豊かな心の育成（みんなニコニコ） ○ 健やかな体の育成（からだグングン） (2) 組織目標 誠実・勤勉・協和（校訓より） ・子供ファースト（子供の成長を実感できる教育活動の充実） ・まじめにスタディ（主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の充実） ・みんなでトライ（創意工夫を生かした協働による指導力の向上）
重点課題と対策	「学び取る」「成長する」「協働する」
確かな学力の育成（ひとみキラキラ） ○ 主体的・対話的で深い学びの実現（須田小スタイル）を図る学習指導の展開 ○ 基礎・基本の定着 ○ 家庭学習（宿題＋自主学習）の充実 豊かな心の育成（みんなニコニコ） ○ 目標をもち、自治的に実践する特別活動の充実 ○ キャリア教育の充実 ○ 人権に配慮し、一人一人を尊重する教育の実践 健やかな体の育成（からだグングン） ○ 一人一人の体力向上 ○ 自己管理能力や危険回避能力の育成 ○ 基本的な生活習慣確立のための指導と啓発活動の充実	○ 自分で考え、判断し、表現する場がある授業の充実 ○ デジタルとアナログを効果的に交えた授業の工夫 ○ 計算チャレンジ大会・月例テストの実施 ○ 個別最適な学びに向けた個別指導の充実 ○ 「わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業づくり」～「基礎的・基本的な知識・技能」を土台とした「協働的な学び」を通して～ ○ 児童主役の学校行事、委員会、クラブ活動の推進 ○ 自治的な縦割り班活動（遊び・ボランティア）の充実 ○ 夢や目標をもち、諦めず粘り強く取り組む児童の育成 ○ キャリア教育の視点を意識した授業や学校行事の展開 ○ 生活いじめアンケートの実施（毎月 1 回）と情報共有 ○ 温かい人間関係づくり・所属感のある学級づくりの推進 ○ 朝運動・業間運動の計画的な実施 ○ 運動時間を確保した体育授業の展開 ○ 外部専門家による保健指導、安全教育等の充実 ○ 自分の命は自分で守る防災教育等の充実 ○ 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進（家庭と連携をとった取組） ○ 栄養教諭や給食委員による食育の授業の実施

校 章	所在地	神栖市柳川中央 1-9-10		教職員数		1 5	
	学校長	吾妻 俊昭		児童数		9 0	
	創立記念日	1 1 月 2 日		学年別児童数			
	T E L	0479-46-0025		1 年	9	4 年	1 4
	F A X	0479-46-0489		2 年	1 8	5 年	1 8
	E-mail	530704@sch.ibk.ed.jp		3 年	1 6	6 年	1 5
	URL	http://www.kamisu.ed.jp/yanagawa/					
学校の教育目標		よく学び よく遊び 心豊かで たくましい 児童の育成 「児童が主役、みんなが笑顔になる柳川小」 みんな＝児童・保護者・地域・教職員 「つなぐ」を意識し、常に学び合う教師集団					
校舎全景				学校経営方針			
				- めざす学校像 児童一人一人にとって学びがいのある学校 教職員にとって働きがいのある学校 地域、保護者にとって頼りがいのある学校 - めざす児童像 よく考え進んで学ぶ子 思いやりのある子 丈夫な体で最後までやり抜く子 - めざす教師像 児童の声を誠実に受け止める教師 人間性豊かで地域から信頼される教師 使命感をもち常に研修に励む教師			
重点課題と対策				「教わる」から「学び取る」へ 「自立」から「自律」へ 「チャレンジ」から「トライ」へ			
1 自ら学び続け、「分かった」「できた」「もっと知りたい」を実感できる授業づくり - 児童の資質・能力を明確にした、探究的な学びの推進・ICTの効果的な活用・教科担任制・社会に目を向けるための新聞活用や児童作品の投稿による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 - 授業のユニバーサルデザイン化の推進・交流学級との連携強化による特別支援教育の充実 - デジタルドリルの活用・読書量の充実と語彙力の向上による家庭学習・読書の活性化 - 校内研修及び読書活動・読み聞かせ・ことチョキタイム（言葉の貯金の時間）・新聞等の活用及び充実 【研究テーマ】 根拠を明確にして自分の考えを表現する力を育成する学習指導の在り方				「キャリア教育推進プロジェクト」 ～10年間学ぶ意欲を持続させるために～ 友だちいっぱい、夢いっぱい プロジェクト			
2 お互いを尊重し、協力し合える学校・学級づくり - 安心・安全な風土の醸成・自己肯定感・自己有用感を育む活躍の場づくりによる児童一人一人を大切にしたい学級経営 - 自律心や思いやりの心を育む異学年交流（縦割り班）・集団生活における関わり合いと体験活動の充実による児童主体の特別活動 - 多様な視点で話し合い、自己を見つめ直す機会の充実・自他を大切にする人権意識の高揚を図る言語環境の充実による道徳教育、人権教育の推進				1 児童に身に付けさせたい力（育てたい力）◎重点 - 不得手なことや苦手なことも自ら考え進んで取り組み解決しようとする力（考えてやりとげる力：課題対応能力） - 自分や友だちや様々な人々との交流を通して、様々な立場や考えの相手に対して理解しようとする力（言葉と心でかかわる力：人間関係形成・社会形成能力） - 生活の中で自分のよさを生かせるように進んで取り組もうとする力（自分をみつめる力：自己理解・自己管理能力） - 自分の将来の夢や目標の実現に向かって具体的に行動したり、その方法を工夫・改善したりする力（ふみだす力：キャリアプランニング能力）			
3 健康で安全に生活するための力を育む指導体制づくり - 体育の授業改善（運動量の確保と場の設定）・体育的行事、業間運動の工夫改善による体力づくりの推進 - 自己管理能力の向上を図るための計画的な授業の実施による保健体育・食育の推進（養護教諭、技師等による専門的指導の充実） - 危機回避能力を育むための避難訓練・引き渡し訓練の実施による安全教育の推進				2 活動内容 - 年間を通した異学年での交流（縦割り班活動・あいあいタイム・体力テスト・柳川フェスティバル等） - 児童が主体で運営する活動（委員会活動・1年生を迎える会・運動会・持久走大会・創立150周年を祝う会等） - 教科等横断的な体験活動（収穫・栽培体験、職場見学等）を取り入れた授業等の実践 3 期待される成果 - 体験的・問題解決的な活動を通じて、最後まで粘り強く「考えてやりとげる力」の育成につながる。 - キャリア教育の視点を意識して、授業や行事に取り組むことで、児童が見通しをもって主体的に活動することができるようになる。活動を通じて、児童が、自ら考え、進んで行動できるようになる。 - 家庭・地域と連携しながら授業や行事等を行うことにより、学んだことを児童自らの学習や生活に活かすことができるようになる。			